



ひまわりバスで出かけよう!

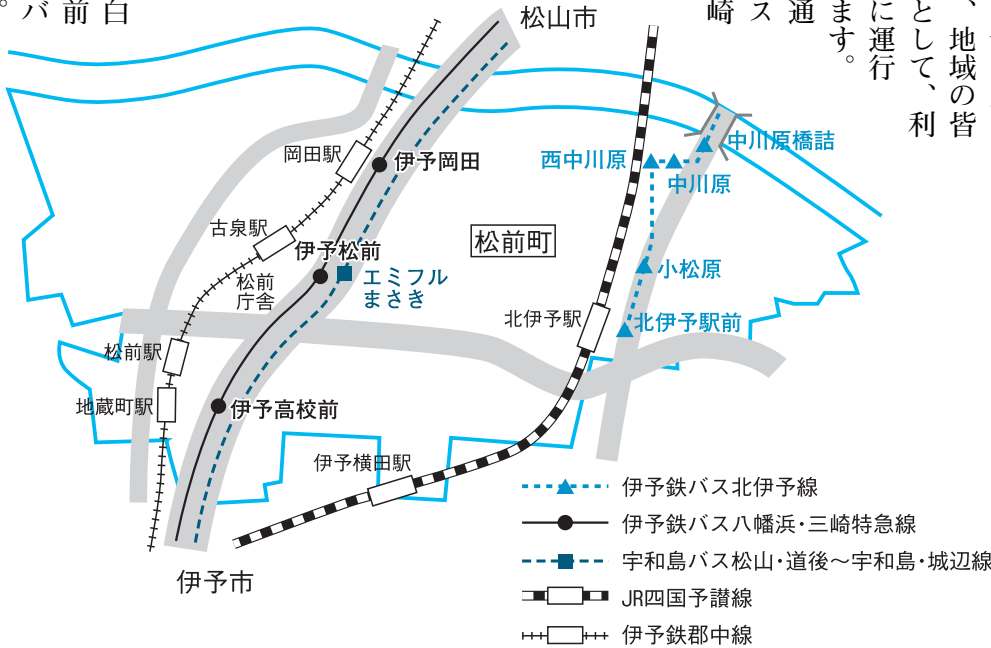
ひまわりバスって?

ひまわりバスは、町内を1日8便巡回するコミュニティバスです。コミュニティバスとは、地域の皆さんの身近な交通手段として、利便性の向上などのために運行するバスのことを言います。

松前町には、公共交通機関として、伊予鉄バス北伊予線、八幡浜・三崎特急線、宇和島バス松山・道後～宇和島・城辺線、伊予鉄郡中線、JR四国予讃線が運行されていますが、いずれも町内から南北（特に松山方面）へのアクセスとなっており、町内を東西に結ぶ公共交通はなく、交通手段を持たない方に不便をきたしていました。

そこで、この交通空白地帯を埋めるため、以前は町内を巡回する福祉バスを運行していました。しかし、この福祉バスは利用者が高齢者や障害者などに限定されていたことや、平日のみの運行で、

目的地が役場周辺の公共施設のみだったことなどにより、利用者は限られていました。そのため、高齢者から「町の催



しは土曜日や日曜日が多いが、バスが運行されていないので行きづらい」「病院の前や伊予鉄の駅で降

りたい」などの声が多く寄せられていました。これらの声に応え、更なる利便性の向上のために、誰でも、どの停留所でも乗り降りでき、毎日運行できるコミュニティバスを、路線バスとして運行することになりました。こうして昨年8月1日より走り出したのが「ひまわりバス」です。

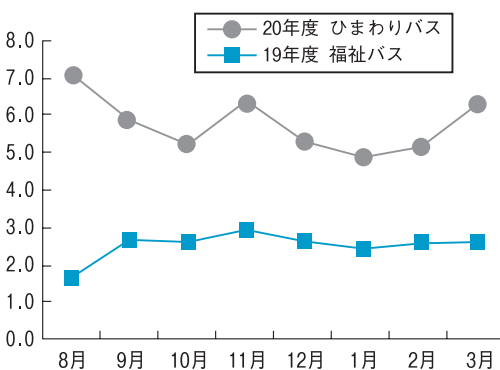
地球にもやさしい ひまわりバス

近年、マイカー保有台数は増加傾向にあり、1世帯あたり1台保有しているという結果になっています。マイカーは確かに便利ですが、過度のマイカー利用は、交通渋滞やCO₂排出増加の原因にもなります。

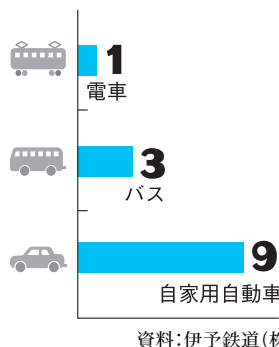
このCO₂排出は地球温暖化の主因となっていて、1人が1km移動するときに排出されるCO₂は、自家用車は電車の約9倍、バスの約3倍となっています。

町民の身近な交通手段として私たちのまちを走るひまわりバスは、マイカー利用に比べ、CO₂削減に貢献するなど、環境にもやさしい乗り物です。

◆ 1便当たりの利用者数



◆ 1人あたりの二酸化炭素排出量の比較



◆ 愛媛県のマイカーの世帯普及台数

